

その式 まちの魅力

—— 県北の玄関口・那須塩原駅
周辺のまちづくりをどのように
進めていきますか

これまで、有識者会議や市民懇談
会などで、市内外それぞれの視点か
ら意見をいただきました。特に差異
があったのは駅前には何があったらよ
いかというテーマで、市外から来る
人は「那須塩原らしさを感じられる
もの」、市民の皆さんからは「店舗な
どの商業施設」という意見が多かつ
たです。しかし、「今の駅前は寂しい」
「にぎわいのある地域にしてほしい」
という声は共通していて、想像して

いたよりも全体的な方向性に違いが
なかったことに驚きました。
さまざまな意見をもとに、**市民の
皆さんにとって住みやすい駅前**であ
ることはもちろん、市外の観光客や
企業にとっても魅力的で、**民間の資
本を呼び込める駅前**にしていきたい
と考えています。

—— **ブランド力向上と魅力ある
まちづくりのために、どのよう
に取り組んでいきますか**

最近ではGOTOキャンペーンの
影響か、多くの観光客が本市を訪れ

て来ています。しかし、これには
「首都圏に近く手頃な観光地を選ぶ」
というコロナ禍ならではの事情もあ
り、現状に満足してはいけません
。観光客や企業など、収束後も本
市に来てくれる「**まちのファン**」を
しっかりと増やしたいですね。
また、本市は農業産出額が県内
トップ、全国の市町村の中でも上位
17位(平成30年推計)という、農業の
ポテンシャルが非常に高いまちで
す。近年の健康ブームや、コロナ禍
で体の基礎代謝・抵抗力を高めよう
という動きも、農業にとって追い風
になっていくと思います。今後は、
首都圏に向けた新鮮で単価の高い野
菜の生産や、観光と食をセットにし
たPRなど、**高品質・高付加価値の**

農業にさらに力を入れていきたいと
考えています。

雇用の面で言えば、コロナ禍で「地
方に住みたい、働きたい」と考える
人が増えてくると思います。実際、
那須地域に「ワーケーションの拠点
などを作りたい」という企業からの問
い合わせも多くなっているため、こ
れまでとは違った**企業誘致や移住定
住施策**を考えていきます。

※ワーケーション
ワーク(労働)と休暇(バケーション)
を組み合わせた造語。地方や観光地
などで働きながら休暇を過ごすこと
を指す。

皆さんに聞きました！

那須塩原駅周辺の未来に ついてどう考えますか？

出典：那須塩原駅周辺まちづくりビジョン
に関するアンケート調査(9～10月)

どのようなエリアになったら
いいと思いますか

第1位	活気やにぎわいがあり、 散策するのが楽しいエリア
第2位	繁華街や大型店舗を中心とした 多くの人々が集まる商業エリア
第3位	災害に強く、犯罪が少ないなど 安全・安心に暮らせるエリア
第4位	多くの観光客の出発点となる ような観光の拠点となるエリア
第5位	那須塩原らしさや県北の玄関口 として象徴となるエリア

必要だと思う施設は



参加してみたい地域活動や
イベントは



その参 持続可能性

—— 長く住み続けられるまちに
するために、どのような構想を
考えていますか

まず、注力したいのは**環境政策**で
す。近年の国内外の動きを見ると、
今後非常に大きなウェイトを占めて
くると感じていますし、気候変動は
本市の基幹産業である観光と農業に
直接影響を及ぼすので、切り離さな
い課題です。気候変動が起こってか
ら対策を考えるという姿勢ではな
く、**予見性を高め、積極的な対策を
したい**です。例えば、「10年後に気
温が〇度上昇するだろう」と予測さ

れたとします。観光分野では、従来
のように避暑地として売り出すので
はなく、ラフティングやカヤックな
ど暑さを楽しむ観光地への転換、農
業分野では、作物の品種改良や転作
などの対策が考えられます。

また、**自然災害への対応**も課題で
す。特に、災害によって電力供給が
止まってしまうこと。将来的には、
地域で作る電力を非常時に地域内に
供給できるようにするなど、**ライフ
ラインを途切れさせないようにする
必要がある**と考えています。
近年全国で相次ぐ災害や新型コロナ
ウイルス感染症を経験したこと
で、これからの時代は世の中の在り
方や常識が大きく変わっていくと思
います。災害やパンデミックが起き

でも「ここに住んでいけば安全・安
心に生き延びられる」というまちに
なるよう、**地域で最低限の自給自足
ができる仕組み**を作りたいですね。



市長から皆さんへのメッセージ

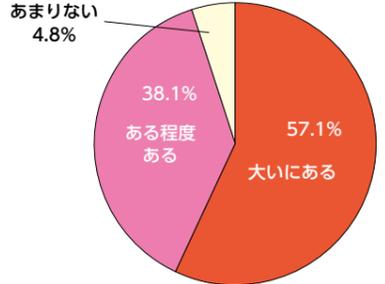
2020年は多くの皆さんにご理
解と協力をいただき、本当に助け
られた1年でした。分散登校や臨時
休校のときに大きなパニックが起こ
らなかったり、マスクや消毒液を多
くの企業や市民から寄付していただ
いたり、市と皆さんとの強い信頼
関係を感じました。この信頼関係を
大事にし、さらに助け合える仕組
みを作りたいと考えています。
皆さんの知恵を借りながら、本市
をよりよいまちにしていきたいと思
いますので、今後ともよろしくお願
いします。

皆さんに聞きました！

日頃の生活で、気候変動の 影響を感じますか？

出典：市民参加による気候変動情報収集・
分析事業 ヒアリング調査(8～10月)

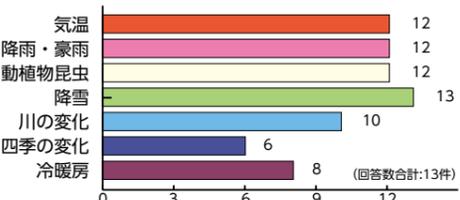
農業 育てている作物への影響は
※農業(耕種)関係者へのヒアリング。



病害虫が増えたため、防除にかかる時
間や経費、薬剤などが変化した。

暑さで果実の大きさがふぞろいになっ
たり、収穫量が減ったりしている。

観光業 身近な環境で感じる影響は
※観光関係者へのヒアリング。



冷房の設置・稼働が欠かせなくなった。

局地的な豪雨がよく発生するようになり、
増水や水害が増えた。

雪景色が見られなくなり、雪かきの手
間が減ってきた。

学校 厳しい暑さによる影響は
※学校へのヒアリング。

学校行事や学習内容の時期や時間帯を
変更した。

屋外や体育館など、冷房のない場所の
暑さが厳しく、活動がかなり制限され
てしまう。